

附属坂出学園における合同運動会の歴史

松村雅文¹

<要旨>

香川大学教育学部に附属する坂出市内の4校園(附属幼稚園・附属坂出小学校・附属坂出中学校・附属特別支援学校:「附属坂出学園」と称される)が毎年秋に開催する合同運動会の歴史について、資料や文献の調査を行った。主に調べた資料は、1913(大正2)年の創立時から残されている附属坂出小学校の「学校日誌」であり、従来はほとんど存在が知られていなかった香川師範学校女子部「昭和十八年度起 沿革史」(松楠会所蔵)等も参考にした。この結果、現在のように附属坂出中学校グラウンドで合同運動会が行われるようになったのは、1955(昭和30)年であったことを示した。1951(昭和26)年3月の香川師範学校の閉校以前は、同校女子部(昭和18年度より前は香川県女子師範学校)を含めて運動会が行われていたこと、その初回は1913(大正2)年11月9日の女子師範学校と附属小学校の合同運動会であったことを確認した。また、坂出学園の合同運動会の特徴として、大正期から戦前までは坂出高等女学校が運動会に参加していたこと、昭和10年代頃(少なくとも昭和8、9、12年)は香川県内の小学校リレー大会も同時に開催されていたことを示した。

1. はじめに

附属坂出学園(坂出市内の附属幼稚園・附属坂出小学校・附属坂出中学校・附属特別支援学校の4校園で構成される)は、毎年秋に合同運動会を行っている。この運動会には、総勢900名近くの園児・児童・生徒が参加し、保護者の方々等の参加も含めると3000名近くが集まり盛況を呈する。運動会の開催にあたっては、各校園の子供たちや教職員が尽力するのみならず、保護者の方々(松韻会・親和会)にもバザーや警備等で運営に協力いただいている。つまり、この運動会は附属坂出学園が総力を挙げて行う象徴的な行事であると言える。

しかし、この合同運動会の起源等に関する歴史的な経緯は、必ずしも明確ではない。この運動会の起源について、附属坂出小学校の『五十周年史』¹⁾の1955(昭和30)年の記述(p.83)では、“教育の面における改良の特色として(1)附属小中学校連合による運動会の実施であり(2)入学試験の学区制の事実上の中止である。…(略)…この二つの学校が、幼稚園を加えて、附属中学校において大運動会を挙行することの歴史が始まったのである”と記されており、1955(昭和30)年を最初としている(附属坂出小学校『百年史』²⁾でも同じ記述がなされている)。一方、附属幼稚園の『創立五十周年記念史』³⁾には、“昭和27年のころ、今までの高等女学校・香川師範学校女子部の運動場から、附属中学校を会場として、幼稚園・小学校・中学校の合同による全学園運動会が開催されるようになった”と記されている(同書p.11の写真のキャプション)。後者は、“昭和27年のころ”と幅を

1 理科教育講座、元附属坂出小学校・附属幼稚園

持たせた書き方になっているが、“昭和30年”とする小学校『五十周年史』¹⁾の記述とは必ずしも整合的ではない。

また、附属幼稚園『創立五十周年記念史』³⁾からは、戦前も合同運動会が行われていたことが判るが、その詳細は明らかではない。同書の“創立のころ”の節の運動会の写真のキャプション(p.8)には、“附属幼稚園は、香川県立^(マ)女子師範学校・香川県立坂出高等女学校・香川県立^(マ)女子師範学校附属小学校との合同で、運動会を開催していた。それは、どこにも見ることのできない風景であった”と記されている。この写真の日付は示されていないが、附属幼稚園の創立が昭和8年であったことと、この記述の前後に昭和9～17年頃の写真が掲載されていることから、この写真も昭和10年代頃のものであると推定される。『香川大学教育学部百年のあゆみ』⁴⁾(pp.169-170)にも、この頃と思われる合同運動会の様子の記述があるが、運動会の起源や経緯等については記されていない。

本研究では、合同運動会の起源や過去の運動会の状況をより明らかにするために、文献や資料の調査を行った。まず、附属坂出小学校の「学校日誌」⁵⁾や香川師範学校女子部「昭和十八年度起 沿革史」⁶⁾等の資料を調査し、運動会に関する記述を見出して書き出した(2節)。これを基に、坂出学園の運動会の変遷について概観した(3.1節)。特徴的と思われることは、昭和10年頃に運動会と同時に「県下小学校児童継走大会」(リレー大会)が行われていたことであり、これについての考察を行った(3.2節)。日本における学校の運動会の歴史は、吉見(1999)⁷⁾や平田(1999)⁸⁾に詳しい。これらや、他の附属学園の事例を参考にして、附属坂出学園の合同運動会の特徴の考察を試みた(3.3節と3.4節)⁹⁾。なお、女子師範学校と高等女学校と関係についても、本研究で気付いたことを記した(3.5節)。4節はまとめを記した。

2. 資料の調査

調査した文献や資料は、以下の通りである：

- (1) 附属坂出小学校の「学校日誌」(図1)： この資料は、附属坂出小学校(当時は香川県女子師範学校附属小学校)が創立された大正2年当初⁵⁾から残されており、極めて貴重な一次資料である。本研究ではこの資料の調査を最も精力的におこなった。「学校日誌」は現在にも引き継がれているが、ここで調査したのは1913(大正2)年～1957(昭和32)年のものである(以後「学校日誌」と記す)。
- (2) 附属坂出小学校の「當直日誌」： 1943(昭和18)年から1947(昭和22)年のものが、「学校日誌」とともに保存されていたので、これも参考にした。
- (3) 香川師範学校女子部「昭和十八年度起 沿革史」⁶⁾： この文書(図2)は、香川大学教育学部同窓会の松楠会所蔵の資料群の一つであるが、これまでその存在はあまり認識されてこなかった。この「沿革史」には1912(明治45)年以降の香川県女子師範学校の沿革の要約と、1943(昭和18)年以降1953(昭和28)年10月22日までの香川師範学校女子部の記録が丁寧に手書きされている。全てではないが、運動会の記録も記されている(以後「沿革史」と記す)。
- (4) 香川県女子師範学校・香川県立坂出高等女学校『教育概要』¹⁰⁾¹¹⁾¹²⁾： この文献は1935(昭和10)年に出版され、両校及び附属小学校と附属幼稚園の概要をまとめている。ここには、1913(大正2)年から1934(昭和9)年までの運動会の一覧(pp.226～227)等があるので参考にした。
- (5) 女師坂女 新聞部「本校関係新聞記事」第1号、第2号、第3号¹³⁾： これらは女子師範・坂出高女の新聞部によるスクラップブックである。1933(昭和8)～1934(昭和9)年(第1号、図3)、1934(昭和9)～1935年(第2号)、1935(昭和10)年以降(第3号)の両校に関する新聞記事の切り抜きが貼られている。これらの資料も、香川大学教育学部同窓会の松楠会所蔵の資料群の中にあつたものである。1933(昭和8)、1934(昭和9)、1937(昭和12)年の運動会についての案内や報告の新

聞記事が添付されている。この中で、1933年10月25日の記事には運動会の種目が掲載されていたので、付録1に示す。



図1 大正2年の附属坂出小学校の「学校日誌」の表紙(左図)と最初のページ(右図)。同校に保存されている「学校日誌」の最初のものである。使われていた原稿用紙には、「綾歌郡第二坂出尋常小学校」と印字されている⁵⁾(右図)。



図2 「昭和十八年度起 沿革史」⁶⁾の表紙

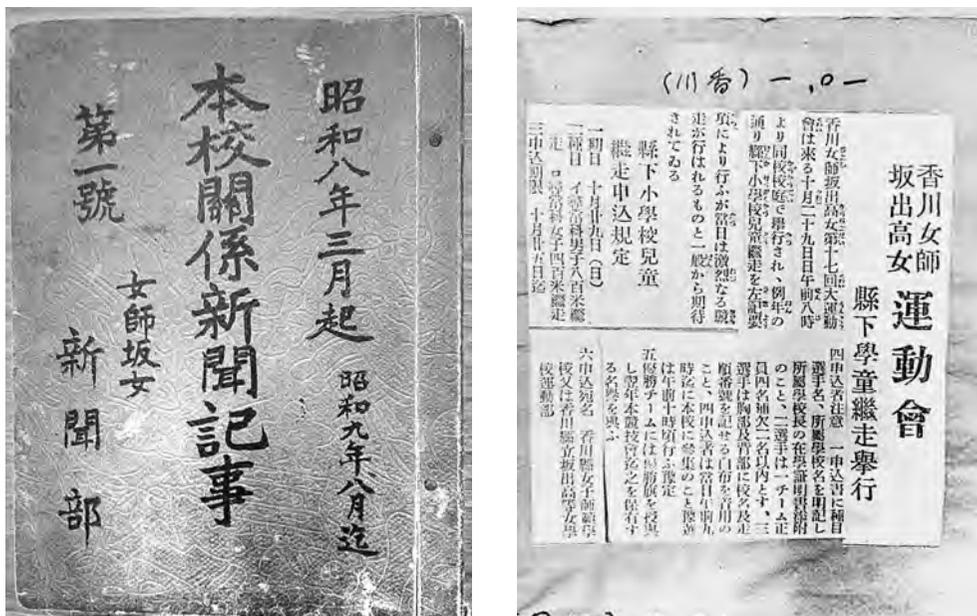


図3 (左)「本校関係新聞記事 第一號」¹³⁾の表紙 (右)1934(昭和9)年10月29日の運動会の案内記事(香川新報1934年10月1日)

これらの資料から、運動会に関連する記述を書き出したものを付表(付録2)に示す。付表では、年月日(第1、2列)、「学校日誌」に見られた運動会に関連する記述(第3列)、他の資料の記述(第4列)、備考(第5列)を示している。「学校日誌」には、運動会当日のみでなく、その前後に関連した記述がある場合も多いので、それらも記した。1916(大正5)年のように、運動会当日(10月29日)の記述はないが、その前日等の記述から、運動会の状況が判る場合もあった。

付表は冗長であるので、整理して1年を1行にまとめたものが表1である。表1は、年月日(第1、2列)、運動会の名称(第3列)、開催場所(第4列)、参加した学校園(推定も含む、第5列)を示している。第4列では、運動会の開催場所が明示されている場合は◎を、予行演習の実施場所の記述から、ほぼ確実に開催場所が推定される場合は○を、間接的に開催場所が推定される場合は△を、それぞれ付した。参加した学校園(第5列)についても、状況的には参加していたはずだが、記述がないものについては△を付した。

表2は、表1を基に、学校園の参加の変遷によって区分し、1913(大正2)年から現在までの運動会についてまとめたものである。

表1. 大正2年から昭和32年までの運動会の変遷

年	月日	名称	場所 ^(a)	参加した学校園
T2(1913)	10 28 火	連合運動会(1~4年生)	坂出尋常小学校◎	近隣の小学校?
	11 1 土	15校の連合運動会(5、6年生)	綾川◎	小学校15校
	11 9 日	第一回運動会	本校◎	女師、附小
T3(1914)	11 7 土	運動会	本校◎	女師、附小
T4(1915)	11 5 金	運動会	本校◎	女師、附小
T5(1916)	10 29 日	体操総練習会	本校○	女師、附小
T6(1917) ^(b)	10 21 日	体操総練習会	本校○	女師、高女△、附小
T7(1918)	10 20 日	体操(科)総練習会 ^(c)	本校○	女師、高女△、附小

附属坂出学園における合同運動会の歴史

T8 (1919)	11 1 土	体操(科)総練習会 ^(c)	本校◎	女師、高女△、附小
T9 (1920)	10 23 土	運動会／体操総練習会 ^(d)	本校◎	女師、高女△、附小
T10 (1921)	10 23 日	体操科練習会／運動会 ^(e)	本校○	女師、高女△、附小
T11 (1922)	10 14 土	女師創立十周年高女創立五周年記念運動会	本校◎	女師、高女、附小
T12 (1923)	10 21 日	(本校附属連合)運動会	本校◎	女師、高女△、附小
T13 (1924)	10 19 日	運動会	本校◎	女師、高女△、附小
T14 (1925)	10 18 日	第十回運動会 ^(f)	本校◎	女師、高女△、附小
T15 (1926)		[開催されず] ^(g)		
S2 (1927)	10 22 土	第十一回運動会	本校◎	女師、高女△、附小
S3 (1928)	11 11 日	(御大典奉祝記念)運動會	本校○	女師、高女△、附小
S4 (1929)	11 17 日	第十三回運動会(秋季大運動会)	本校○	女師、高女△、附小
S5 (1930)	11 3 月	第十四回運動会	本校◎	女師、高女△、附小
S6 (1931)	10 24 土	第十五回運動会	本校○	女師、高女△、附小
S7 (1932)	10 20 日	第十六回運動会	本校◎	女師、高女△、附小
	11 15 火	二〇周年記念運動会	附小？ ^(h)	附小のみ？
S8 (1933)	10 29 日	創立記念運動会 ⁽ⁱ⁾ ／第十七回運動会	本校◎	女師、高女、附小、附幼 ⁽¹⁾
S9 (1934)	10 18 木	第十八回運動会	本校△	女師、高女△、附小、附幼△
S10 (1935)	10 17 木	第十九回大運動会	本校◎	女師、高女、附小、附幼 ⁽¹⁾
S11 (1936)	10 17 土	第二十回大運動会	本校△	女師、高女△、附小、附幼△
S12 (1937)	10 31 土	秋季大運動会	本校◎	女師、高女、附小、附幼 ⁽¹⁾
S13 (1938)	10 9 日	大運動會	本校△	女師、高女△、附小、附幼△
S14 (1939)	10 8 日	第二十三回大運動会	本校△	女師、高女△、附小、附幼△
S15 (1940)	10 13 日	運動会	本校◎	女師、高女△、附小、附幼△
S16 (1941)	10 11 土	第二十五回運動会	本校◎	女師、高女、附小、附幼 ⁽²⁾
S17 (1942)	10 9 金	第二十六回秋季大運動会	本校△	女師、高女△、附小、附幼△
S18 (1943) ^(k)	10 12 火	大鍛錬会／秋季大体操会 ⁽¹⁾	本校△	女子部、高女△、附小、附幼 ^(m)
S19 (1944)	10 12 木	体操大会／秋季鍛錬大会 ⁽ⁿ⁾	本校◎	女子部、高女△、附小、附幼△
S20 (1945)		[運動会関連の記述なし]		
S21 (1946)	10 28 月	創立記念運動会 ^(o) ^(p)	本校？	附小、附幼△
S22 (1947) ^(q)	10 12 日	秋季大運動会	本校△	女子部、附中、附小、附幼(高女は不参加？) ^(r)
S23 (1948) ^(s)	10 21 木	第三回女子部〇〇附属小中幼合同運動会	本校△	女子部、附中、附小、附幼
S24 (1949) ^(t)	10 30 日	大学創立記念大運動会	分校◎	女子部、附中、附小、附幼
S25 (1950)	10 24 火	秋季大運動会	分校△	女子部？、附中、附小、附幼
S26 (1951) ^(u)	10 8 月	香大附属坂出学園秋季大運動会	分校◎	附中、附小、附幼 ^(v)
S27 (1952)	10 26 日	運動会(プログラムでは“あきの運動会”)	分校◎	附中、附小、附幼
S28 (1953)	11 1 日	秋季大運動会	分校△	附中、附小、附幼
S29 (1954) ^(w)	10 18 月	運動会	坂出高校 ^(x)	附中、附小、附幼
S30 (1955)	10 9 日	秋季大運動会	附中◎	附中、附小、附幼
S31 (1956)	10 7 日	運動会	附中○	附中、附小、附幼
S32 (1957)	10 8 火	運動会	附中◎	附中、附小、附幼

(a) 運動会の開催場所：“本校”は香川県女子師範学校または香川師範学校女子部を、“分校”は香川大学学芸学部坂出分校をそれぞれ意味し、いずれも現在の坂出高校の場所である。運動会当日の記録から場所が明確な場合は◎を、運動会前後の記録(例えば予行演習の記録)から、ほぼ確かな場合は○を、状況として推察される場合は△を付している。

(b) 香川県立坂出高等学校が開校する。

(c) 「学校日誌」では体操科総練習会、『教育概要』(pp.226-227の大運動会一覧。以下同様)では体操総練習会と記されている。

(d) 「学校日誌」では運動會、『教育概要』では体操総練習会と記されている。

(e) 「学校日誌」では体操科練習会、『教育概要』では運動會と記されている。

(f) T14年度から回数が入力されている(『教育概要』による)。

(g) T15年度は、女子師範における工事の為、運動会は開催されなかった(「学校日誌」による)。

(h) 「学校日誌」には、S7年11月7日に新運動場が完成した旨の朝会訓話があった。このため、この新運動場で小学校単独の運動会を行ったと推測される。

(i) “創立記念”は、附属幼稚園の創立(S8年)と考えられる。『教育概要』では第十七回運動会と記されている。

- (j1) “師範高女 新聞部”のスクラップブックの切り抜き記事より、参加した校園が判る。
- (j2) S16年10月7日の「学校日誌」に、4校園で予行演習を行った旨の記載があるため、運動会当日も4校園が参加したと考えられる。
- (k) S18年4月、官立の香川師範学校が発足した。附属の名称は、香川師範学校女子部附属小学校、同附属幼稚園となる。
- (l) 「学校日誌」では大鍛錬会、「沿革史」では秋季大体操会と記されている。
- (m) “本校生徒、附属児童、附属園児の秋季大体操会を行ふ”と「沿革史」に記されている。
- (n) 「学校日誌」では体操大会、「沿革史」では秋季鍛錬大会と記されている。また「昭和十九年度 當直日誌」には「体操大会(本校運動場にて)」と記述されている。
- (o) 「沿革史」には、S21年10月21日の記録として“本日より九日間農繁の爲め全校生徒(注：師範女子部のこと) 帰省 但し非農家生徒は廿八日九日校内作業のため帰校す”と記されており、女子部生徒は参加していなかったことが判る。運動会の実施時間も“午前九時開始 午後二時十分終了”(「学校日誌」)と他より短く、このことを裏付けている。
- (p) S21年10月30日10時から第四回本校開校記念講演会が女子部講堂で開催され、講師は湯川秀樹、演題は“科学の立場”であった(「学校日誌」、「沿革史」、「昭和二十一年度 當直日誌」)。
- (q) S22年4月、附属坂出中学校が開校される。「沿革史」のS22年9月19日の記録には、“本日より職員の日宿直を師範、高女別々に之を行ふ”と記されており、この頃から両校の運営が別々に行われたことを示唆する。
- (r) S22年10月8日の「学校日誌」には、“運動會豫予行 女子部全体の”の記述がある。“女子部全体”が、師範学校女子部と附属のみを意味するならば、高女は参加しなかったことになる。
- (s) S23年4月、新制の香川県立坂出女子高等学校発足(同校のホームページより)。
- (t) S24年5月31日、香川大学発足(学芸学部と経済学部の2学部)。学芸学部の分校を、師範学校女子部に設置することとなる(坂出分校)。各附属校園は「香川大学香川師範学校附属…校(園)」となる。
- (u) S26年3月、師範学校が廃止される。4月、各附属校園の名称は「香川大学学芸学部附属…校(園)」となる。
- (v) S26年10月21日(日)に、“坂出高校運動会 運動具 茶器 貸与”の記述があり、坂出高校と附属の運動会が別々に行われたことが判る。翌S27年10月12日にも坂出運動会の記述があり、附属の運動会とは別の日であったことが判る。
- (w) S29年3月31日、坂出分校、閉校。
- (x) 「学校日誌」S29年10月11日に、“運動會予行(高校運動場)”の記述があり、少なくとも予行は坂出高校で行われていたことが判る。このことから、運動会が坂出高校で行われたと推定できる。

表2. 坂出学園運動会の時代区分

区分	運動会を実施したグラウンド		参加した学校園						
	旧・女師	附中	女師	女子部	高女	附小	附幼	附中	養護/特支
T2(1913)～T5(1916)	○		○			○			
T6(1917)～S7(1932)	○		○		○	○			
S8(1933)～S17(1942)	○		○		○	○	○		
S18(1943)～S21(1946)	○			○	○/?	○	○		
S22(1947)～S25(1950)	○			○	×?	○	○	○	
S26(1951)～S29(1954)	○					○	○	○	
S30(1955)～S49(1974)		○				○	○	○	
S50(1975)～現在		○				○	○	○	○

3. 考察

3.1 運動会の変遷

運動会は、1913(大正2)年以降、女子師範(後に香川師範学校女子部)の校庭(現在の坂出高校の校庭)で、ほぼ毎年行われていた(表1、表2、付表)。今回調べた1913(大正2)年から1957(昭和32)年の期間で開催されなかった年は、1926(大正15)年と1945(昭和20)年であった。1945年は、明らかに終戦後の混乱の爲であろう。1926年については、「学校日誌」によると、同年10月18日の朝会訓話において、“本校(注：女子師範学校のこと)の工事の爲、例年の如き運動会はすることが出来ない”と説明されている(付表)。実際、「沿革史」には、大正15年4月に「第二棟教室を増築す」と、また同年12月には「寄宿舎二階建一棟新築成る」と記されている。

運動会の名称は、“(大)運動会”と記されている場合が多いが、別の名称で呼ばれている場合もある。1916(大正5)年から1921(大正10)年までは、“体操(科)総練習会”と呼ばれていた。また1943(昭和18)年は“大鍛錬会”、1944(昭和19)年は“体錬大会”(または鍛錬大会)と呼ばれた。1943～1944年の名称は戦意高揚の爲と考えられる。

運動会に回数が付せられている場合が多いが、全てではない。1925(大正14)年から1942(昭和17)年の運動会は、第10回から第26回となっている。この番号を遡ると、1916(大正5)年の“体操総練習会”が第1回に相当するが、1924(大正13)年までは番号付けはされていない。なお、1913(大正2)年の初回の運動会は「第一回運動会」と記されているが、これを1回目と数えると、1925年以降の番号とは矛盾する。また、1943(昭和18)年以降は番号付けされていない(但し“第三回”とされた1947年を除く。3.1.4節を参照)。これは1943~1944年は“大鍛錬会”等の名称で呼ばれたためなのかもしれない。一方、1943(昭和18)年に香川県女子師範学校は、官立の香川師範学校女子部に移行した(3.5節)ことを考えると、学校の在り方が変わったため運動会も変わり、番号付けを止めたのかもしれない。いずれにしても明確なことは判らない。

3.1.1 1913(大正2)年の運動会

附属小学校は1913(大正2)年に創立したが、この年、同校は計3回、運動会に参加したことが「学校日誌」から判る(表1、付表)。10月28日には、4年生以下の児童が坂出尋常小学校での連合運動会に参加し、11月1日には、5年と6年の児童が綾川での15校の連合運動会に参加したと記録されている(付表)。このころは、複数の小学校による連合運動会が盛んであり(平田(1999)⁸⁾、創立したばかりの附属小学校は、それに参加したのであろう。しかしながら、この後は他の小学校との連合運動会に参加した記録は見いだせず、参加したのはこの年のみだったようである。

この年の3回目の運動会が、11月9日の“本校第一回ノ運動会”(「学校日誌」の表現)である。当初、この“本校”は、附属小学校を意味すると思われた。しかし、「学校日誌」には、しばしば女子師範学校を意味する言葉として“本校”が使われている(「本校に行く」「本校に於いて」など)。つまり「学校日誌」においては、“附属”に対する意味として“本校”が使われているのである。そうならば、この運動会は、女子師範の第一回の運動会を意味することになる。実際、『教育概要』¹⁰⁾の運動会一覧(pp.226~227)によると、女子師範の“第一回運動会”も1913年11月9日であり、その解釈が正しいことが判る。つまり1913年の“第一回運動会”は、附属小学校にとっても、女子師範学校にとっても初回であり、合同運動会であった。この運動会は成功裏に終わったようで、「学校日誌」の当日のページには、“職員生徒共二元気ヨク、愉快ニ今日一日ヲ過シタリ”と記されている(付表)。

なお、小学校の「学校日誌」には、この11月9日の運動会が午前9時から午後4時まで行われたことと、小学生による12種目の競技が記されている(付表を参照)。この12種目が運動会の全種目であるならば、時間がかかりすぎている(仮に昼休みが1時間なら、平均1種目あたり30分かかったことになる)。しかし、小学生の種目以外に、女子師範の生徒による種目も行われていたならば不自然ではない。つまり、小学校の「学校日誌」に記載された種目は、小学生に関するものだけの抜粋と考えられる。

3.1.2 1932(昭和7)年の運動会

1932(昭和7)年には、附属小学校は2回、運動会を行った(「学校日誌」、表1、付表)。すなわち、10月20日に第十六回運動会を行い、更に11月15日に「20周年記念運動会」を行っている。後者についての記述は、女子師範の「沿革史」には出てこない。また、11月7日に小学校の“新運動場が完成”(「学校日誌」)したことを考えると、新運動場で小学校単独の運動会を行った可能性が高いと思われる。

3.1.3 「創立記念運動会」と関連行事

“創立記念”と冠される運動会は、「学校日誌」によると、3回行われた(表1、付表)。

まず、1933(昭和8)年10月29日に“創立記念運動会”が行われている(但し『教育概要』¹⁰⁾では“第

十七回運動会”としか記されていない)。附属幼稚園がこの年の4月に創立されているので、これを祝しての名称だと考えられる。なお、この年の運動会のプログラムは「本校関係新聞記事」第1号¹³⁾に掲載されており、本稿の付録1にも示している。

次に、1946(昭和21)年10月28日の「創立記念運動会」は、10月30日の香川師範学校の創立記念日に関連するものだったと考えられる。師範教育令の改正により、官立の香川師範学校が1943(昭和18)年4月に発足した。1943(昭和18)年、1944(昭和19)年、1945(昭和20)年の10月30日にそれぞれ開校記念式が行われており(「沿革史」)、この日を記念日としたようである¹⁴⁾。1946(昭和21)年には、開校記念式は行われなかったが、10月30日に「第四回本校開校記念講演会」が女子部講堂で開かれ、湯川秀樹が「科学の立場」という題目で講演を行った(「沿革史」、「学校日誌」、「當直日誌」)。なお1947(昭和22)年10月30日は、女子師範は「開校記念日に付休業」であった(「沿革史」)。

1946(昭和21)年の創立記念運動会に、女子師範の生徒は参加していなかったようである。「沿革史」1946(昭和21)年10月21日の記録によると、“本日より九日間農繁の為め全校生徒帰省 但し非農家生徒は廿八日九日校内作業のため帰校す”と記されている。このため、女子師範の大半の生徒は運動会当日の28日には不在であったはずであり、運動会は小学校単独か、または小学校と幼稚園のみで行われたはずである。終戦後の困難な時代であったため、通常の行事が必ずしも満足にできなかったと想像される。

なお、当時、高松から丸亀に移動していた香川師範学校男子部は、「創立記念運動会ならびに展覧会」を、1946(昭和21)年10月29日に行った¹⁵⁾。10月30日頃に色々な行事が「創立記念」と冠されて行われていたことになる。

3回目の「創立記念」を冠した運動会は、1949(昭和24)年10月30日の「大学創立記念大運動会」であった。「沿革史」によると、この頃に大学祭として関連行事もあり、図画、工作、書道の展覧会、職員のソフトボール大会、野球大会、演劇会、籠球、排球大会等が行われたと記されている。

3.1.4 戦後の学制改革と運動会：坂出高等女学校／坂出高校に関して

戦後の学制改革に伴い、1947(昭和22)年から1953(昭和28)年頃までは、坂出学園でも学校の開校・開校が相次いでいる(表3)。これに伴い、運動会のあり方も、大きく変わっている。

表3. 1943～1954年の坂出学園各校の変遷^{a)}

年度	学校名			
	香川師範学校	学芸学部・坂出分校	坂女・坂出高	附中
1943(昭和18)年度	開校		○	
1944(昭和19)年度	○		○	
1945(昭和20)年度	○		○	
1946(昭和21)年度	○		○	
1947(昭和22)年度	○		○	開校
1948(昭和23)年度	○		坂女・閉校	○
1949(昭和24)年度	○	開校(6月)	坂出高校・開校	○
1950(昭和25)年度	閉校	○	○	○
1951(昭和26)年度		○	○	○
1952(昭和27)年度		○	○	○
1953(昭和28)年度		閉校	○	○
1954(昭和29)年度			○	○

a) 大きな変遷が無かった附属小学校と附属幼稚園は除く。開校・閉校は、それぞれの年度初め・年度末である。

大きな変化の一つとして、1946（昭和21）年以降、坂出高女は合同運動会に参加していないと推定されることが挙げられる。3.1.3節に記したように、1946（昭和21）年の創立記念運動会に女子師範は参加していないので、坂出高女も参加していないと想像される。1947（昭和22）年の「学校日誌」には“運動会予行 女子部全体の”、1948（昭和23）年の「学校日誌」には“第三回女子部〇〇附属小中幼合同運動会”と記されており（付表）、“女子部”は香川師範学校女子部の意味なら、坂出高女は含まれていないと考えられる。また1948年を“第三回”と数えるならば、第1回目は1946年になり、坂出高女が参加していない新しい形の運動会が、1946年から発足したと解釈できそうである。なお、「学校日誌」の記録から、坂出高校が独自の運動会を行ったことが判るのは、1951（昭和26）年である。この年、附属坂出学園の運動会は10月8日に行っており、10月21日の「学校日誌」には、「坂高運動会 運動具 茶器 貸与」と記されている（付表）。

3.1.5 戦後の学制改革と運動会：現在の運動会の起源

現在のように附属坂出学園としての運動会が行われるようになったのはいつであろうか。以下に1950（昭和25）年から1955（昭和30）年の状況を考察する：

（1）香川師範学校女子部閉校前後：女子部は、1950（昭和25）年度末に閉校となっているので、この年までは、女子部も含めた運動会が行われたと想像されるが、この年に女子部が参加したという直接の記録はない。1951（昭和26）年の運動会のタイトルは「香大附属坂出学園秋季大運動会」であり（表1、付表）、現在と同様に附属学校園のみの参加であったことが判るが、場所は依然として坂出分校（現在の坂出高校）の運動場であった（「学校日誌」に“於 香川大学坂出分校”の記述がある。付表参照）。なお、1952（昭和27）年の運動会のプログラムが「学校日誌」に添付されていたので、付録1に示す。

（2）1954（昭和29）年：この年は、香川大学坂出分校が高松に統合されて閉校になった次の年であるが、この年の運動会も、坂出高校の運動場で行われたことが「学校日誌」から推察される。10月18日の運動会の開催場所は「学校日誌」に記録されていないが、10月11日の「学校日誌」に“運動会予行（高校運動場）”と記録されており、予行は高校（坂出高校）で行ったことがわかる。このため、運動会当日も、坂出高校で行われたのではないかと推定される¹⁶⁾。

（3）1955（昭和30）年10月6日、7日の運動会の予行や練習には、中学校運動場を使ったことが記されている（付表）。10月9日の運動会当日の場所についての直接の言及はないが、状況的に中学校で行われたと推定される。

このように見ると、附属学校園のみの運動会が行われるようになったのは、1951（昭和26）年であり、現在の附属中学校の運動場で行われるようになったのは、1955（昭和30）年であったと言える。前者は、“昭和27年のころ”から合同運動会が行われるようになったと記されている附属幼稚園『創立五十周年記念史』³⁾と矛盾するものではない。また後者は、附属坂出小学校の『五十周年史』¹⁾の記述を裏付けるものである。

3.2 “県下小学校児童継走大会”について

戦前の運動会のプログラム（『教育概要』¹⁰⁾ pp.226~227）や、「本校関係新聞記事」¹³⁾（図4）から、運動会の中で“県下小学校児童継走大会”（リレー大会）が行われていたことが判る。この継走大会は、出場を県内の小学校から募り（図3右）、運動会中に行われていた。『教育概要』¹⁰⁾ pp.244~245 に示されている1934（昭和9）年の第十八回大運動会プログラムを見ると、通常の競技とは別に、“縣下小學校継走”が示されており、

午前十時半 優勝旗返還式、女子四百米豫選、男子八百米豫選

午後一時半 女子四百米決勝、男子八百米決勝、優勝旗及賞品授与式と記されている。優勝旗の返還と授与が行われ、更に賞品まで授与されており、運動会の中のメインイベントとして位置づけられている。他にこのような例は見当たらず、坂出の運動会を特徴づけるものと言えよう。新聞部の「本校関係新聞記事」¹³⁾から、少なくとも、1933(昭和8)年、1934(昭和9)年、1937(昭和12)年には行われていることが判る。また、香川新報の記事(1934年10月1日)には、“例年の通り県下小学校継走を左記要項により行ふが当日は激烈なる競争が行はれるものと一般から期待されてゐる”(図3右)と記されていることから、かなり長期に渡って継続され定着していたことが窺える。新聞記事に掲載された要項では1933年と1934年の場合、男子800メートル、女子400メートルで、1チーム正員4名(補欠2名以内)となっている。但し、1937年の結果報告の新聞記事¹³⁾では、男子400メートル・女子200メートルと記されている。

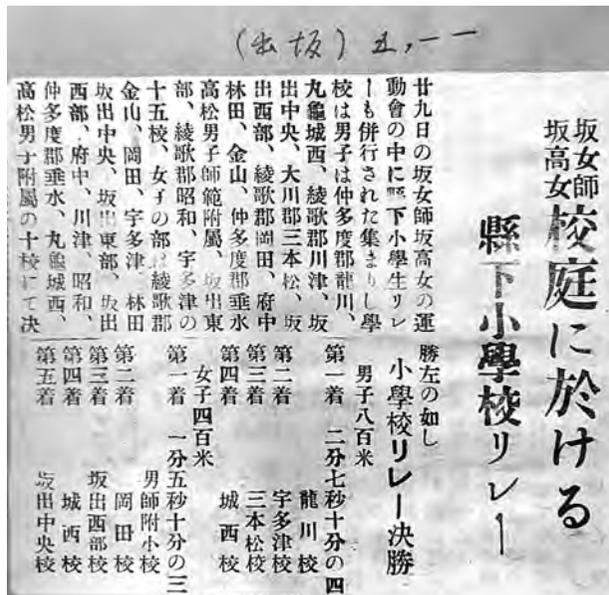


図4 1933(昭和8)年10月29日運動会における県下小学校児童継走(リレー)の結果を報ずる新聞記事(「本校関係新聞記事」第1号¹⁰⁾より)。手書きのメモ(上部)「坂出、一一、五」から、1933(昭和8)年11月5日の新聞記事であることが判るが、新聞名は「坂出」がつくこと以外は不明である。

『香川大学教育学部百年のあゆみ』⁴⁾には、女子師範による“香川県初等教育振興を目指しての諸活動”の一つとして、“県下小学校連合会活動”が記され、その一つとして“リレー大会”が示されている。同書(p.154)には、“優勝校には、優勝旗を授与した。強豪がそろっていたので、観覧者の喜びの的であった”と記されている。なお、連合会活動の行事としては、リレー大会以外に、連合音楽会、連合美術展覧会、排籠球大会、小学校連合研究会が記されている。これらのうち研究会は今日に引き継がれている。県内の小学校の色々な活動において、女子師範と附属小学校が中心的な役割を果たしていたことが窺われる。

3.3 全国の大正期から昭和前期の運動会との比較

日本における学校の運動会の歴史は、吉見(1999)⁷⁾や平田(1999)⁸⁾に詳しい。これらの文献によると、運動会は以下のような経緯を辿る。日本の最初の運動会は、1874(明治7)年の海軍兵学寮

における競争遊戯が最初のものであり、内容的には個人対個人の競技会であった。運動会が全国の小・中学校に普及していくのは1880年代半ば頃からであり、団体競技が重視され、複数の同種の学校が参加する連合運動会⁹⁾が多かった。大正期になると、運動会は単独で行われることが多くなり(平田⁸⁾)、また周辺の住民を巻き込んだ祝祭的な側面が強くなった(吉見⁷⁾)。この頃の連合運動会では、単独運動会に比べると、競技会的な性格が強くなり、昭和に入ると連合運動会の事例は見当たらなくなった(平田⁸⁾)。

坂出の運動会は、他と異なり、大正から昭和にかけて、そして現在まで、合同運動会として継続している。特に他には見られない特徴として、女子師範と附属校園のみならず坂出高等女学校も参加していたことと、継走大会(リレー大会、3.2節)を行っていたことを挙げることができる。全国の運動会については、大正から昭和にかけて連合運動会が減ったことで、競技会的な要素は減っていった(平田⁸⁾)。しかし、昭和10年代頃の坂出の合同運動会では、継走大会が開かれることで、競技会的な要素が含まれていたと言えよう。

一方、全国の運動会と共通する点として、祝祭的な側面が強かったことが挙げられる。その盛況ぶりは、「附属の父兄母子席は六百の椅子が朝来満員にて女師高女の父兄母子席は一千の椅子が朝来満員にて又一般観覧席もこの頃の初草の様に傘を指したまま雨中も構わず…(略)…良く観覧した…」[例年行われるバザーは、うどん、すし、おしるこ、アイスクリーム、菓子等各一千分宛を売りつくした]と新聞に報道されている(「本校関係新聞記事 第参號」、1935(昭和10)年11月5日、坂出)¹³⁾。

3.4 他の附属学校園の事例

戦前、特に明治末から昭和の初めにかけての、坂出以外の附属学校園の運動会はどうであったのだろうか。ここでは、坂出学園の運動会の特徴を更に考察するため、文献やインターネット上の情報等、閲覧できる範囲で調べたので、以下にその結果を記す：

(1) 高松の男子師範と附属小学校は、1914(大正3)年10月31日に、合同運動会を行っている(『香川大学教育学部附属高松小学校 百年史』¹⁷⁾ p.29)。但し、この合同運動会がどの程度継続したのかは明らかではない。その後、1951(昭和26)年から1959(昭和34)年までは、附属高松中学校と小学校の合同運動会が行われている(『高松小学校 百年史』¹⁷⁾ pp.43-47)。

(2) 広島大学附属三原の大運動会は、現在、100回を越えており、中・小・幼の合同で行われている¹⁸⁾。これらの学校園は、1909(明治42)年に創立された広島県三原女子師範学校の附属校園であった。そのため、坂出の場合と同様に、戦前は女子師範学校を含めて運動会が行われていた可能性が高いと考えられる。

(3) 広島高等師範学校の場合、1907(明治40)年の附属中学校創立3年目の年の10月17日に第1回体操科演習大会(高師・附中・附小)が開かれ、以後、恒例となったとされる(『創立百年史別巻』第3部年表¹⁹⁾ p.285) また春季運動会は、1907(明治40)年の春から附中と附小の合同運動会になったとされる(同書 p.252)。

(4) 東京女子高等師範学校²⁰⁾では、1926(大正15、昭和元)年の秋から、女高師、附属校園合同の運動会が開始された。1931(昭和6)年からは、合同運動会と附属学校別々の運動会とを隔年に行うようになった。

調べたのは4例のみであるが、坂出以外の附属校園でも、明治の終わり頃から昭和の初めにかけて、合同運動会が行われていたことが判る。附属学校園の合同運動会は、従来の研究^{7) 8)}ではほとんど注目されていなかったが、かつては盛んに行なわれていた例が多いのではないかと想像され

る。なお、上記の4学園と坂出を含めた5学園の中で、現在まで合同運動会が引き続き行われていることが確認できるのは、坂出と三原の2学園である。当初行われていた合同運動会がどのような特徴をもっていたのか、どのような変遷を辿ったのか等は、各学園により事情は異なり、一概に論ずるのは難しいだろう。しかし、附属学校園の合同運動会は、公立学校とは違うタイプの運動会として研究の余地が残されているように思われる。

3.5 女子師範学校と高等女学校との関係

戦前の合同運動会には、女子師範学校と坂出高等女学校が参加していた。これは、女子師範と高等女学校が併設されていたからであろうが、このような例は珍しいと思われる。そこで、本論からは若干外れるが、女子師範と坂出高女の関係について、判ったことを記しておく。

坂出高女は1917(大正6)に創立されたが、この時、どのような理念で、女子師範と同じキャンパスに設立されたのか等については、入手できる資料等からは明らかではない。しかし、1935(昭和10)年に発行された『教育概要』¹⁰⁾における当時の磯野清校長が記した緒言には、次のような記述が見られる：

本校の組織は表面から観ると、香川懸女子師範学校と香川懸立坂出高等女学校との両校である。然しこれを内面から窺へば、校舎も校具も全く同一物を共用し、剩え教師も全部両校兼務であるから、全く融合した一校である。

その上で、両校は“目的を異にしているので、…(略)…各校の特色を失わせないと共に、統一ある一校としての学校精神を醸成しなければならぬ”と記している。つまり、学校それぞれの特色は認めつつも、学校精神による統一性が強調されている。

しかし、師範教育令が1943(昭和18)年3月に改正され、これに伴って、同年4月より香川県女子師範学校は、官立の香川師範学校女子部に移行した。しかし、女子師範学校長の井上忠義が引き続いて女子部長に任ぜられ(「沿革史」)、また坂女の校長も引き続き兼任した(坂出高校ホームページ²¹⁾)。つまり、この時は、表面上の大きな変化は無かった。

その後の両校でどのような議論が行われたかは不明だが、1947(昭和22)年に大きな動きがある。「沿革史」には、次の記述がある：

昭和22年2月11日 本校対坂出高女問題に付縣教育民生部長外数名来航協議会開催

昭和22年6月19日 本日より職員の日宿直を師範高女別々に之を行ふ

つまり、1947(昭和22)年2月には、香川県庁からも数名が来て協議されたほど、大きな問題になっていた。同年6月から宿直を女子師範と坂出高女とで別々に行ったことは象徴的な出来事として記録されたと思われる。この後、1948(昭和23)年3月31日には、坂出高女は閉校となり、4月からは坂出高校が開校された。

4. まとめ

本論文では、附属坂出小学校「学校日誌」⁵⁾や、香川師範学校女子部「昭和十八年度起 沿革史」⁶⁾(松楠会所蔵)等を調べ、現在も行われている附属坂出学園の合同運動会の歴史について考察した。その結果、1913(大正2)年、附属小学校が創立した年に、女子師範学校と附属小学校が行った合同運動会が最初であり、それ以来、ほぼ毎年、開催されてきたことが判った。1917(大正6)年に坂出高等女学校が、また1933(昭和8)年に附属幼稚園がそれぞれ創立されると、これらの学校園も合同運動会に参加していった。現在のように附属坂出中学校を会場として行われたのは、1955(昭和30)年が最初であった。この合同運動会に特徴的なこととして、昭和10年代頃は、香川県内の小学校のリレー大会が同時に開催されていたことが挙げられる。これにより運動会に競技会的な

要素が入り、運動会がより魅力的なものになったに違いない。同時に、女子師範学校と附属小学校が県内の小学校教育において中心的な役割を果たしていたことを示している。坂出以外でも、師範学校（または高等師範学校）とその附属学校園との合同運動会は、幾つかの事例が見られる。この種の合同運動会は、大正期から昭和初期にかけては必ずしも珍しい存在ではなかった可能性があるが、従来は、ほとんど研究されていないことを指摘した。

謝辞 1948（昭和23）年から長年、附属坂出小学校に勤務された榮 岩男先生に、戦後間もない頃のお話を伺うことができ、参考にさせていただきました。附属坂出小学校の樽本導和副校長には同校の「学校日誌」の閲覧で、また松楠会の佐藤明宏理事長と同会事務局の岡田さんには、松楠会所蔵の資料の閲覧で、お世話になりました。四国新聞社メディア室情報管理部の大山さんたちには、昭和21年の四国新聞での運動会の記事について御教示いただきました。お世話になった方々に感謝を申し上げます。

【文献・注釈等】

- 1) 香川大学学芸学部附属坂出小学校『五十年史』、香川大学学芸学部附属坂出小学校、1962（昭和37）年
- 2) 香川大学教育学部附属坂出小学校『百年史』、香川大学教育学部附属坂出小学校、2012（平成24）年
- 3) 香川大学教育学部附属幼稚園『創立五十周年記念史「五十年のあゆみ」』、香川大学教育学部附属幼稚園、1984（昭和59）年
- 4) 香川大学教育学部百周年記念授業実行委員会編『香川大学教育学部百年の歩み』、香川大学教育学部松楠会、1989（平成元）年
- 5) 附属坂出小学校「学校日誌」（附属坂出小学校所蔵）：大正2年の「学校日誌」に使われていた原稿用紙には、「綾歌郡第二坂出尋常小學校」と印字されている。同校は、大正2年に“坂出町第二坂出尋常小學校の一部を代用附属小学校として開校す”（『五十年史』¹⁾）とされるが、このことを裏付けている。
- 6) 香川師範学校女子部「昭和十八年度起 沿革史」（香川大学教育学部同窓会の松楠会所蔵）使われている原稿用紙に「香川師範学校」と印字されているので、この文書は香川師範学校が創立された1943（昭和18）年以降に作成され、その後、学校での出来事が加筆されたことが判る。この文書は、『香川大学教育学部百年の歩み』⁴⁾の作成時に参照されたことが次のことから確認できる。つまり、「沿革史」の1953（昭和28）年10月1日の欄に「坂出分校に於ての授業は二年生のもとなり非常に淋しく火が消えた様である。寮生も約半数高松へ移転し炊夫堤ミサホも配置換となる」と記されているが、全く同じ文章が『香川大学教育学部百年の歩み』⁴⁾ p.257 に引用されている。この引用元は明記されていないが、この一致から「沿革史」が引用元であったことは明らかである。
- 7) 吉見俊哉「ネーションの儀礼としての運動会」、吉見俊哉ほか『運動会と日本近代』、第1章、青弓社、1999年
- 8) 平田宗史「わが国の運動会の歴史」、前掲書、第3章
- 9) 上記の11)と12)においては、複数の同校種の学校で行われる運動会を連合運動会（小学校と小学校など）、複数の異校種の運動会を合同運動会（師範学校と附属学校など）と表記しているため、本稿でもそれに従う。
- 10) 香川県女子師範学校・香川県立坂出高等女学校編『教育概要』、香川県女子師範学校・香川県立坂出高等女学校、1935（昭和10）年 [香川大学図書館及び国立国会図書館近代デジタルライブラリー蔵：<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1276218>]
- 11) 10)の調査中に、1924（大正13）年に出版された『香川県女子師範学校・香川県立坂出高等女学校一覧』⁶⁾ [国立国会図書館近代デジタルライブラリー蔵：<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/918569>]にも、両校が開校された当時の状況を知るのに貴重な史料として存在することに気が付いた。しかしながら、この文献には運動会の記述は見当たらず、本研究では資料として使っていない。

- 12) 10)に関連する文献として、香川県女子師範学校附属小学校編『教育概要』、香川県女子師範学校附属小学校、1935(昭和10)年[国立国会図書館近代デジタルライブラリー蔵：<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1455520>]がある。10)の附属小学校の部分の別冊子にしたものである。
- 13) 現存する“女師坂女 新聞部”の3冊のスクラップ帳の表紙は、それぞれ次のように記されている：「昭和八年三月起 昭和九年八月迄 本校関係新聞記事 第一號」(図3左)、「昭和九年九月 本校関係新聞記事 第二號」、「自昭和拾年四月 本校関係新聞記事 第參號」。
- 『教育学部百年のあゆみ』⁴⁾の“第2編 香川県女子師範学校”の“第4節 クラブ活動の全盛時代”には色々なクラブ活動が紹介されているが、新聞部は見当たらない。文化部としては、文芸部、音楽部、書道部、談話部、絵画部、登山部、茶道部、華道部が取り上げられていた。
- 14) 10月30日を創立記念日としたことについては、『香川大学教育学部百年の歩み』⁴⁾p.108にも記述がある。なお、同書p357では10月31日となっているが、「沿革史」を含め他の資料を見ると10月30日が正しそうである。
- 15) 四国新聞 昭和21年10月23日の記事に「香川師範運動会 香川師範学校では廿九日午前十時から丸亀市の同校で創立記念運動会ならびに展覧会を開催する。」と記されている。
- 16) 1954(昭和29)年10月17日の学校日誌には、“校内運動会の予定ありしも雨天のため順延す(翌日へ)”と記されている(付表)ので、小学校で行った可能性もある。この場合、予行は坂出高校の校庭で行ったが、運動会本番は何らかの理由で、小学校で行なったことになる。18日の記録には、単に“運動会”と表現されているだけで場所の情報はない。
- 17) 香川大学教育学部附属高松小学校創立百周年記念事業実行委員会『香川大学教育学部附属高松小学校 百年史』、1990年
- 18) 三原学園第102回大運動会のご案内 <http://www.hiroshima-u.ac.jp/news/show/id/17239>
- 19) 広島大学附属中・高等学校『創立百年史編纂委員会『創立百年史別巻』第3部年表 2005年
- 20) お茶の水女子大学デジタルアーカイブズ～先駆的女性研究者データベース
<http://archives.cf.ocha.ac.jp/chrono1923.html>
- 21) 坂出高校ホームページ 学校案内／沿革 <http://www.kagawa-edu.jp/sakadh01/>

Abstract. We study history of the athletic meeting, or *Undokai*, that has been jointly held once a year in autumn by Fuzoku Sakaide schools, which include Fuzoku Kindergarten, Fuzoku Sakaide Elementary School, Fuzoku Sakaide Junior High School, and School for Children with Special Needs. The school diary of the Elementary School is mainly investigated, which has been kept since the foundation of the school in 1913. We find that the athletic meeting has the same history as the Elementary School, i.e. it was first held in 1913. The schools that joined the first athletic meeting were the Elementary School and the Women's School for Teacher Training: the latter is now integrated in the Faculty of Education, Kagawa University. The athletic meeting changed as the schools were reformed. We show that the meeting has taken its present form since 1955.

〔付録1〕 1933(昭和8)年と1952(昭和27)年の運動会のプログラム

過去の運動会のプログラムはほとんど残っていないが、1913(大正2)年(「学校日誌」、但し小学校に関してのみ)、1933(昭和8)年(「本校関係新聞記事 第一號」¹³⁾10月25日、坂出)、1934(昭和9)年(『教育概要』¹⁰⁾)、1952(昭和27)年(「学校日誌」に添付)については、その内容を見ることができる。以下は1933年と1952年のプログラムを示す。

【1933年の運動会のプログラム】（「本校関係新聞記事 第一號」¹³⁾より）

- 1 合同体操(全校) 2 百米決勝(各級選手) 3 ドリブレース(女三)
- 4 二人三脚(有志) 5 八十米競走(附三四男女) 6 体操(女一)
- 7 コーズダンス(女四) 8 五十米競走(附一二男女) 9 体操(附三男)
- 10 抽籤競走(有志) 11 樽廻(師一二) 12 体操(師五) 13 日の出の旗・月夜の兎・スズ出のスズ(幼稚園) 14 愛らしきピエロ(女三) 15 二人三脚(有志)
- 16 案山子汽車噴水(附二男女) 17 二百米決勝(各級選手) 18 兎と亀(女一)
- 19 抽籤競走(有志) 20 毬送り(幼稚園) 21 虹の橋・村の夕暮れ・仲よし(附三女)
- 22 体操(女四五) 23 障害物競走(有志) 24 池の鯉桃太郎(附一男女)
- 25 快活に働け(女一二) 26 体操(附四五男) 27 縄跳び(師五)
- 28 二人三脚(有志) 29 さあさあやらう(師一二三) 30 リレー(附三男女以上)
- 31 タヂソンボール(女二) 32 体操(附六男) 33 二羽の胡蝶(師四五)
- 34 百米競走(附五男五六高女) 35 体操(師一二) 36 スキットルボール(師三四)
- 37 波・動物園・ハッピーチルドレン(附四五女) 38 抽籤競走(有志)
- 39 綱引(附三男以上) 40 日出づる國に(附六男女) 41 二百米競走(附六男)
- 42 キックボール(女四) 43 綱引(附三女以上) 44 對寮継走(寄宿舎)
- 45 舞踏の印象(女五) 46 卒業生競走 47 体操(師三四) 48 来賓職員競走
- 49 四百米継走(各級選手) 50 描書リレー(女五)
- 51 スマイリングチェリー(師四五) 52 合同体操(全校)

【1952年の運動会のプログラム】（「学校日誌」より）

(表紙)

と き 昭和27年10月26日 8時30分
(雨天のときは10月28日)
ところ 香川大学学芸学部坂出分校グラウンド

あ き の
運 動 会

香川大学学芸学部附属坂出学園

(1 ページ)

I	開 会 式	8.45
II	演 技 (午 前 の 部)	
1	合同体操	中小全員
2	綱ひき競争	中男女全員
3	おさるかごや	小三四男女
4	百米競走	小五六男女
5	もみじ・雨こんこ・たんじょう日	保育部
6	附中体操	中男全員
7	陸上ばぼートレース	小五六男

8	四十米競走	小一二男女	
9	でんでん虫・月夜の兎・まつぼっくり	幼赤組	
10	対部リレー	中有志	10.00
11	ボートレース・夕日・たるま運び	小二男女	
12	八十米競走	小五六男女	
13	しない競技	中一男	
14	日の丸の歌・朝はどこから・小人のおどり	幼青組	
15	スプーンレース・三人四脚・借物競走	中女全員	
16	器械体操	器械体操部	11.00
17	ハルスビクトリ・テンリトルインディアンズ	小四五六男女	
18	汽車の窓から・幼児体操・鈴割	保・幼赤青	
19	むかで・障害物競走	中男全員	
20	学生々活	幼小中有志	

(2ページ)

昼 食
(午 後 の 部)

21	縄とび競走	五六女	12.10
22	跳箱・マット運動	小六男有志	
23	棒たおし	中男全員	
24	紅白たまいれ	PTA有志	13.00
25	しゃぼんだま・お星さま・鈴割	小一男女	
26	千五百米競走	中男有志	
27	おとなりさん・運動会	小三四男女	
28	遠足	中女全員	
29	組立体操	小五六男	14.00
30	四・八百米リレー	中男女有志	
31	夢・おぼろ月	小五六女	
32	PTAの歌・レッドリババレー ^{ママ}	中女全員 APT ^{ママ} 有志	
33	プロムネード	中女・小四女以上	
Ⅲ	閉 会 式		15.00

〔付録2〕「学校日誌」の運動会関連の記述

附属小学校「学校日誌」において見られた運動会に関する記述(1913年から1957年まで)を付表に示す。その他の資料からの情報も書き加えてある。

附属坂出学園における合同運動会の歴史

付表. 「学校日誌」(1913~1957年)に見られる運動会に関する記録^(a)

年	月日	「学校日誌」における運動会に関する記録	他資料での記述	備考
M45 (1912)	1 1			文部省告示第15号をもって、香川県女子師範学校を香川郡宮脇村に設置することを発表した。 (『香川大学教育学部百年のあゆみ』p.356、p.136)
T1 (1912)	8 10			文部省告示第2号をもって、学校の位置を綾歌郡坂出町に変更し、同町所在の県立商業学校校舎を使用することを決定した。 (『香川大学教育学部百年のあゆみ』p.356より)
T2 (1913)	4 25			香川県女子師範学校の代用附属小学校(坂出町立第二尋常小学校)が発足した。 (『香川大学教育学部百年のあゆみ』p.356より)
	4 28 月			T2年4月28日(月)より「学校日誌」が始まる。使われている原稿用紙には、「綾歌郡第二坂出尋常小学校」と印刷されている。
	10 22 水	午後八、運動会ノ打合セラナス後、本校ノ宇野澤先生ヨリ御親切ナル御批判アリタリ。		
	10 27 月	(掲示の欄) 火(午前) 四年以下運動会…場所西ノ尋常校校庭、集合八時直ニ出発。 (午後) 零時半ヨリ、坂出尋常校ニ集合十一月一日聯合運動会豫行演習ヲ行フ。		
	10 28 火	四年以下ノ児童ハ本日坂出尋常小学校に於ケル聯合運動会ニ参加ス。 午前零時十分尋五六年男女引率シテ坂出尋常小学校ニ行キ、来ル十一月一日行フ運動会ノ豫行演習ヲナス。		
	11 1 土	午前七時四十分頃、五六年ノ男女ヲ會合セシメ、十五校ノ運動会ニ引率シテ行キス。 [綾川マデ]		
	11 9 日	本日、本校第一回ノ運動会ヲ盛大ニ举行ス。其ノ模様左ノ如シ。午前九時開会。体操一回(附属尋四男)、二人連競争(尋一男女)、体操(尋三四女)、旗取障碍物競走(四男)、体操(尋五男)、雀(尋一男女)、体操(尋二男女)、旗送り競争(尋六女)、以上午前中。昼食後、体操(尋六女)、徒競走(尋三四女)、旗取競争(尋五男)、綱引(附属職員児童全体)。午后四時閉会。職員生徒共ニ元気ヨク、愉快ニ今日一日ヲ過シタリ。	第一回運動会(『教育概要』)	
	11 10 月	第三時限ハ、生徒全部講堂ニ集合シ、昨九日本校運動会ニツキテ主事先生及ビ森川先生ヨリ親切ナル御批評アリタリ。其ノ要項左ノ如シ。 1.控工場ニオル時ノ心得 2.競争遊戯スル時ノ心得 3.綱引ハヨロシ 4.賞品ヲ受取ルベキ時ノ礼儀 及 万歳ノトナヘ方		
T3 (1914)	11 6 金	(朝礼訓告)日高主事ヨリ本日、女子師範学校ヘ行キ運動練習ヲナスコト仰セラレタリ。 (掲示) 教生ハ 0時三十分ヨリ児童ヲ引率シ本校ニ来ラルベシ。教生ハ、本日週末統計(?)ヲナスベシ。		

松 村 雅 文

年	月日	「学校日誌」における運動会に関する記録	他資料での記述	備考
	11 7 土	女子師範学校ニ於テ運動會挙行。	運動會(『教育概要』)	
T4 (1915)	11 5 金	運動會ヲ午前八時半ヨリ本校ニ於テ開會セリ。	運動會(『教育概要』)	T4 4 1 附属小学校が開校し、従来の代用附属小学校が廃止された。 5 25 附属小学校の校舍落成式を行った。 (『香川大学教育学部百年のあゆみ』p.356より)
T5 (1916)	9 27 木	(朝會訓告)十月廿九日運動會ヲ行フヲ以て、現在ノ体操ヲ特ニ注意シテ練習シオケ(ママ)。運動會ハ本年ヨリ体操科總練習會ト改名ノコト。		
	10 27 金	(會合)本日午後、本、附、聯合し、体操總練習會ノ打合せアリキ。		
	10 28 土	(朝會訓告)体操總練習會ノ時ニ関シテ左ノ項ヲ話シタリ。1.運動ヲナスモノハ熱心ニスルコト。2.参観スルモノハ雑談ヲヤメ席ヲ立タブ一坐懸命ニ見ルベシ。3.父兄ニ案内シタル故ナルバク多数参観ニクル様、ゴ父兄ニ告グベシ。	体操總練習會(『教育概要』)日付は10月30日になっている。備考に“内容を體育に充實し名称を改む”と記されている)	「学校日誌」に10月29日(日)の記載はない。
T6 (1917)	10 16 火	木(十八日)体操練習會 金(十九日)裁縫研究会 一日一善會 体操總練習會準備 土(二十日)体操總練習會準備 日(二十一日)体操總練習會	体操總練習會(『教育概要』)日付は12月21日になっている)	「学校日誌」に10月21日(日)の記載はない。
	10 17 水	○時半ヨリ本校校庭ニ於テ連合体操練習會豫行演習アリタリ。		
T7 (1918)	10 18 金	(朝會訓告)一、本日本校ニ於テ兩校同時ニ体操科總練習會ノ豫行練習アルコト。 二、総テノ運動ニ全カヲ注ギ、且ツ敏捷ニスベシ。 三、口ヲ結グ(ママ)。		
	10 19 土	明日体操科總練習會につき○○準備のため職員一同は機材(?)を庭に○し仕事をなす。(以下略)	体操總練習會(『教育概要』)日付は10月19日になっている)	10月20日(日)に開催されたはずだが「学校日誌」に記載はない。
T8 (1919)	11 1 土	午前八時ヨリ本校ニテ体操科總練習會ヲ行フ。	体操總練習會(『教育概要』)	
T9 (1920)	10 20 水	午前十時ヨリ本校ニ於テ本校ト共ニ豫行練習會ヲ行フ。		
	10 23 土	午前八時半ヨリ運動會。 附属児童全部女子師範学校ニ集合シ總練習會ヲ開ク。午前八時ヨリフ(ママ)プログラムノ順序ニヨリテ運動ヲ挙行セラル。	体操總練習會(『教育概要』)	
T10 (1921)	10 19 水	第二時限後、本校ニ集合シ本校附属聯合ニテ体操科練習會ノ豫行演習ガアツク。		
	10 23 日		運動會(『教育概要』)	「学校日誌」には10月23日(日)の記述はない。
	10 25 火	朝會ガアツク。前田主事ヨリ オ話ガアツク。今ノ六年ノリレーレースノ選手者ガ、始(ママ)メテ優勝旗ヲ取ツタガ、下学年ノ者モ之ニ負ケナイ様ニ後ヲ継イデ行カネバ、ナラナイトノオ話デアツク。同時ニ一同ノモノハ 此ノ元氣デ。		
T11 (1922)	10 2 月	本校ニ於テ運動會豫行演習ヲ行フ。		
	10 14 土	本校ニ於テ十周年記念運動會開かれた。なかなか盛に行われた。	女師創立十周年高女創立五周年記念運動會(『教育概要』)	

附属坂出学園における合同運動会の歴史

年	月日	「学校日誌」における運動会に関する記録	他資料での記述	備考
T12 (1923)	10 16 火	午前十時半ヨリ本校デ聯合予行演習ガアリマシタ。		
	10 20 土	午前十一時カラ本校ヘ行ッテ、附属ノ控席ヲ作りマシタ。ソレカラ学級デ教生ガ一人ヅツ残ッテ掃除ヲサシ(ママ)タ。		
	10 21 日	午前八時ヨリ本校附属聯合運動会アリ。午後四時二終ル。経過良好ナリキ。	運動會 (『教育概要』)	
T13 (1924)	10 13 月	〇三時ヨリ本校にて運動会予行演習。		
	10 19 日	本校運動會(午前九時ヨリ午後五時)	運動會 (『教育概要』)	
T14 (1925)	10 11 日	本校二於テ運動會ノ予行演習ヲ行フ。		
	10 16 金	本校二於テ運動會予行演習ヲ行フ(尋五東ヲ除ク)。		
	10 18 日	本校二於テ運動會アリ。	第十回運動會 (『教育概要』) (備考欄に、“本回より回数記入あり”)	
T15 (1926)	10 18 月	(朝會訓告) 主事先生 - 本年ハ本校ノ工事ノ為、例年ノ如キ運動會ハスル事ガ出来ナイ。然シ此ノ良季節ニシッカリ運動セヨ。		
S2 (1927)	10 18 火	運動会予行演習あり。午前九時開会 午後五時閉会		
	10 19 水	(朝會訓告) 朝會あり、主事先生ヨリ昨日の運動はよく出来たとお賞めの言葉あり。後山本先生の指揮により當日(運動会)の配列に直して体操をなす。		
	10 21 金	(朝會訓告) 朝會あり、主事先生ヨリ、明日は運動會であるから七時半迄に登校八迄に腰掛けを運ぶこと、五年男子は警備係を命ぜられた。 (其他) 午後は授業なく、教生は本校に行つて準備し、リレー選手は残つて練習した。		
	10 22 土	午前八時依リ本校運動場にて秋季運動會開始 午後五時閉會す。	第十一回運動會 (『教育概要』)	
S3 (1928)	11 6 火	午前九時ヨリ 運動會豫行演習(本校、附属共)		
	11 10 土	午後一時ヨリ 本校講堂に於いて、後即位拝覽式を行ふ。		
	11 11		御大典奉祝記念運動會 (『教育概要』)	「学校日誌」には11月11日(日)の記述はない。
	11 12 月	(朝會訓告) 朝會あり。主事先生ヨリ 1. 運動會の総評。 2. 午後 旗行列をなす事。		
S4 (1929)	11 14 火 ~ 16 土	(朝會訓告) 聯合体操の練習を行ふ。 (3日連続で同じ記述あり)		
	11 17 日	秋季大運動會を挙行せり。…来賓、父兄、一般観覧者多数。盛會を極む。	第十三回運動會 (『教育概要』)	
S5 (1930)	10 29 水	第三時限ヨリ本校に於テ運動會豫行演習あり。		
	11 2 日	雨天のため、運動會なし。		
	11 3 月	明治節も式を、午前八時ヨリ、本校に於テ挙行。式後、大運動會をなす。観覧者多数。盛會なり。	第十四回運動會 (『教育概要』)	
S6 (1931)	10 23 金	三時限ヨリ四時限まで豫行演習あり。放課後本校へ準備にゆく(教生)		
	10 24 土	運動會	第十五回運動會 (『教育概要』)	
S7 (1932)	10 29 土	第一時限 合同体操(全校児童本校へ)		

松 村 雅 文

年	月日	「学校日誌」における運動会に関する記録	他資料での記述	備考
	10 20 日	本校運動会につき職員全部出勤	第十六回運動会(『教育概要』日付は10月30日)	
	11 7 月	(朝會訓話) 新運動場完成ニツキ大イニ活動スル様。但シ外側コンクリート 横木ニ注意ノ事		
	11 14 月	本日運動会 雨天ノ為 順延 午前授業トス 教生 第一時限 本校へ		
	11 15 火	二〇周年記念運動會 (来訪の欄) 来賓多数来校		小学校単独の運動会カ?
S8 (1933)	4 10 月	幼稚園児童入学式挙行。 引続き同園保護者會創立委員會 ○○校		
	10 11 水	運動会打合聯合職員會(本校松韻館階上)		
	10 29 日	創立記念運動會挙行	第十七回運動會(『教育概要』)	
	11 1 水	午後一時より 29日運動会の行はれなかつた運動を本日挙行さる。		
S9 (1934)	10 17 水	大運動会の日なれど雨の為延期		
	10 18 木	大運動会(午前八時半より - 3時〇迄)	第十八回運動會(『教育概要』)	
S10 (1935)	10 17 木	午前八時より本校運動場にて第十九回大運動會開催。午後四時二十分終了。		
S11 (1936)	10 17 土	午前八時ヨリ第二十回大運動會ヲ開催。午後三時五十分閉會。		
S12 (1937)	10 21 木	一時限後 運動會豫行演習ヲ行フ(附属校ノミ)		
	10 31 土	秋季大運動會ヲ本校運動場にて挙行。		
S13 (1938)	9 28 水	運動會第一回予行演習		
	10 9 日	大運動會		
S14 (1939)	9 30 土	一. 白峯宮參拜 高女 二. 運動會予行演習 三. 午後一時十五分より予行演習反省會		
	10 8 日	第二十三回大運動會挙行		
S15 (1940)	10 8 火	一. 午前七時半 運動場集合 二. 午前七時五十分ヨリ午後四時二十分マデ本校運動場ニ於て予行演習ヲ行フ。		
	10 13 日	一. 午前七時二十分尋常〇運動場へ集合 二. 午前八時ヨリ運動會 午後三時四十分終了 一同無事		『昭15 当直日誌』には、「大運動會挙行(本校に於て)」と書かれている。
S16 (1941)	10 7 火	一. 運動會予行演習。 女師、高女、附校、附幼 合同ニテ 二. 豫行演習終了後 反省會ヲ松韻會館ニ於テ行フ。当校ヨリ 丸岡、高〇、野田、富田		
	10 11 土	第廿五回運動會 本校運動場に於テ開催。 午前八時十五分開始 午後三時三十分閉會		
S17 (1942)	10 9 金	一. 第二十六回秋季大運動會 ・開式 午前八時十五分 ・終了 午後三時二十分 午前午後共 雨中決行せる為、… (略) …		
S18 (1943)	4月			S18年4月、官立の香川師範学校が発足。附属校園の名称は、香川師範学校女子部附属小学校、同幼稚園となる。
	10 6 水	(朝會訓話) 合同鍛鍊予行演習について		

附属坂出学園における合同運動会の歴史

年	月日	「学校日誌」における運動会に関する記録	他資料での記述	備考
	10 12 火	大鍛錬会	本校生徒、附属児童、附属園児の秋季大体操会を行ふ(『沿革史』)	『昭和十八年度 當直日誌』の当日の記載に、「運動会反省会あり」の記述あり。
S19 (1944)	10 11 水	体操大会準備		
	10 12 木	体操大会	秋季鍛錬大会を実施(『沿革史』)	『昭和十九年度 當直日誌』の当日の記載に、「体操大会(本校運動場にて)」の記述あり。
S20 (1945)				運動会関連の記述なし。
S21 (1946)	10 25 金	運動会豫行演習		S21年10月21日 本日より九日間農繁の為め全校生徒(注：師範女子部のこと)帰省 但し非農家生徒は廿八日九日校内作業のため帰校す(『沿革史』)
	10 26 土	運動会準備		
	10 28 月	創立記念運動会 午前九時開始 午後二時十分終了		
	10 29 火			(『昭和二十一年度 當直日誌』より) 明日開校記念日 児童休業 午前授業
	10 30 水	一. 開校記念文化講演 於女子部講堂 京大 湯川博士 午前十時より	第四回本校開校記念講演会を当校に於て開催。講師は京大教授、理博湯川秀樹先生、演題＝科学の立場(『沿革史』)	(『昭和二十一年度 當直日誌』より) 開校記念講演会 湯川博士 於本校講堂
S22 (1947)	4月			附属坂出中学校 開校
	9 19			本日より職員の日宿直を師範、高女別々に之を行ふ(『沿革史』)
	10 6 月	一. 運動会予行演習(校内)		
	10 8 水	一. 運動会豫行 女子部全体の		
	10 11 土	一. 運動会準備 プログラム印刷 其他		
	10 12 日	一. 運動会	秋季大運動会を行ふ(『沿革史』)	
S23 (1948)	4 1			新制の香川県立坂出女子高等学校発足(同校のホームページより)
	10 16 土	一. 運動会合同予行演習		
	10 21 木	一. 第三回女子部○○附属小中幼合同運動会 二. 運動会後 ○○○会 懇親会	第三回運動会開催(『沿革史』)	秋季運動会も10月21日に初めて復活したのである。(『五十年史』p.68)
S24 (1949)	(5 31)			5.31、香川大学発足(学芸学部と経済学部の2学部)。各校園の名称は、「香川大学香川師範学校附属…校(園)」となる。
	10 24 月	・校内運動会予行(午後より)		
	10 27 木	秋季運動会予行演習(全日)		
	10 30 日	運動会を本校にて行う 午後五時半より徳永教官送別会	大学創立記念大運動会を行う 引き続き大学祭として十一月四日まで左の行事あり 図画、工作、書道の展覧会、職員のスフトボール 野球大会、演劇会、籠球、排球大会等(『沿革史』)	
S25 (1950)	10 24 火	一. 秋季大運動会		

年	月日	「学校日誌」における運動会に関する記録	他資料での記述	備考
S26 (1951)	3月 4月			3月、師範学校が廃止される。 4月、各附属校園の名称は「香川大学学芸学部附属…校(園)」となる。
	10 8 月	一. 香大附属坂出学園秋季大運動会 於 香川大学坂出分校		
	10 21 日	(校内の欄) 一. 坂高運動会 運動具 茶器 貸与 (校外の欄) 一. 坂出高校運動会		
S27 (1952)	10 12 日	(校外の欄) 坂高運動会		
S27 (1952)	10 26 日	一. 運動会 八.〇〇 登校 八.二〇 開会 二.五〇 閉会		「学校日誌」にプログラムが添付されている。
S28 (1953)	10 27 火	一. 運動 中小幼稚園 打合せ (後三時 於 集会室)		
	11 1 日	一. 秋季大運動会		
S29 (1954)	3 31			坂出分校 閉校
	9 7 火	一. 運動会運営委員会 三.〇〇		
	10 11 月	一. 運動会予行(高校運動場)		
	10 14 木	三. 運動会案内状		
	10 16 土	一. 運動会準備完了		
	10 17 日	一. 校内運動会の予定ありしも 雨天のため順延す(翌日へ)		
	10 18 月	一. 運動会		
S30 (1955)	9 27 火	三. 父兄運動会審議練習会 於 幼稚園。		
	10 1 土	一. 教師 父兄運動会演技練習会 於 幼稚園。		
	10 2 日	一. 運動会演技練習。広七教官来校		
	10 5 水	一. 運動会予行準備		
	10 6 木	一. 三〇年度秋季運動会予行練習。中学校 にて行う。 二. 四時より反省会。		
	10 7 金	一. 運動会練習 中学校運動場使用。		
	10 8 土	一. 運動会準備完了		
	10 9	一. 秋季大運動会 九時開始 三時完了 二. 反省会 (宿直の記事の欄) 一. 運動会中小合同 反省会		『五十年史』p.83 教育の面における改良の特色として(1)附属小中学校連合による運動会の実施であり…(略)…この二つの学校が、幼稚園を加えて、附属中学校において大運動会を挙げる歴史が始まったのである。
S31 (1956)	9 5 水	一. 運動会運営委員会 於中学校 十四時半～一六時 長尾、宮本、香川、広七		
	10 2 火	一. P運動会演技練習 二. バザー打合せ 三. 運動会予行準備		
	10 3 水	一. 運動会予行 二. 反省会(四.〇〇-七.〇〇)		
	10 4 木	一. 小中学校予行反省打合せ(於中学校)		
	10 7 日	運動会		
S32 (1957)	9 4 水	一. 運動会運営委員会		

附属坂出学園における合同運動会の歴史

年	月日	「学校日誌」における運動会に関する記録	他資料での記述	備考
	9 27 金	一. 小運動会予行		
	9 28 土	一. 運動会予行準備		
	10 2 水	一. 運動会予行 於中学校 九時より午後三時		
	10 5 土	一. 運動会諸準備完了		
	10 6 日	一. 運動会延期 一. 午前授業		
	10 8 火	一. 運動会 午後九時 於 附属中学校々庭		

(a) 「学校日誌」における記述を、できるだけ忠実に書き出したため、字体や表記の仕方等は、統一されていない。

ISSN 0454-9309

香川大学教育学部

研究報告

第 I 部

第 144 号

香川大学

2015

香川大学教育学部 研究報告 第I部

2015

第144号

目 次

	左開きページ
日高 優・三好康代・山下輝美・横田まき子・村上昭史・ 湯浅英幸・大久保智生： 現代の青年における「草食系男子」の増加言説の検討 —恋愛に対する態度に注目して— ……………	1
富永大悟・中島栄美子・恵羅修吉： 読みづらい書字を呈する小学6年生の児童に対する書字指導と視空間 ワーキングメモリトレーニングを組み合わせた個別指導 ……………	15
伊藤裕康：教育実習生の道徳教材開発への支援に関する試み ……………	27
佐々木信行：熱力学による諺の研究（その1）—二兎を追う者と一石二鳥— ……	47
佐々木信行：熱力学による諺の研究（その2）—異時性の連結と諺— ……………	57
松村雅文：附属坂出学園における合同運動会の歴史 ……………	65
稲田隆之：ももいろクローバーZの楽曲における〈わけのわからなさ〉の美学…	89
岡田 涼：仲間との協同的な学習における心理的欲求の充足と動機づけとの関連 —縦断データを用いた双方向的関連の検討— ……………	113
轟木靖子：終助詞「ね」の上昇音調について—内省に基づく考察— ……………	123

右開きページ

柴田昭二・連 仲友：古本説話集における希望表現について ……………	1
-----------------------------------	---